

八幡工高新聞

発行者：滋賀県立
八幡工業高校新聞部
フライハイvol10
八工祭号2

八工祭 競技の部



紫団が頑張って綱を引いている様子

綱引き

紫団が序盤から力強い引きで他団を圧倒。開始の合図とともに掛け声を合わせ息の合った動きで見事なチームワークを発揮し、優勢を保ったまま試合をリードした。特に中盤では、全員がリズムよく後方に体重をかけ、息の合った動



青団

きで一気に勝負を決めた。



八工祭・競技の部は、気温の上昇により熱中症が懸念され、開催期間が延び、1日目と3日目の午前実施となった。

大縄飛び



大縄飛びでは、桃団がリズムを合わせて、まるで1つの生命体のように跳び続けた。その姿は、見る者の心を打つ迫力、息の合った連携と集中力で、他の団に大きな差をつける記録を叩き出した。

桃団



桃団が息を合わせて飛んでいる様子

団リレー

体育祭のクライマックスを飾る団リレーでは、各団がプライドをかけた激戦を繰り広げた。なかでも青団の走りが光った。バトンをつなぐごとに加速する勢い。順位が苦しい場面でも、青団の走者たちは一歩も引かず、最後まで力強い走りを見せた。「絶対につなぐ」という気持ちがバトンにこめられ、会場はその姿に大きな声援を送った。

100メートル走 & 200メートル走

八工祭初日を飾ったのは100メートル走だった。選手たちはスタートの合図とともに、一斉に力強く走り出して力を振り絞った。



橙団

橙団が力を合わせて走る様子

ムカデリレー

ムカデリレーでは、各団が団結力を試される白熱の展開となった。なかでも、注目を集めたのは、まるで1つの生き物のように足並みを揃え、力強く前へと進んだチームたちの姿だった。



赤団



赤団が一位をとってゴールしている様子

部活対抗リレー

昨年は行われなかった部活対抗リレーが行われた。走者はパソコンのキーボードやテニスラケット、サッカーボール、竹刀などそれぞれの部活

動を連想させるものがバトンとして用いられた。競技中に素振りをしながら走る剣道部。一般的なリレーとは違う面白さに会場が沸いた。



部活



各部活が走りながら様々なパフォーマンスをしている様子

